

夢の郷 つうしん

発行2019年 9月 通巻第43号
発行責任者:日野 昭義
〒514-0818 津市城山1丁目8番16号
Tel 059-238-0303
Fax 059-238-0304
<http://yumenosato.net>
[mail:yumenosato@aqua.ocn.ne.jp](mailto:yumenosato@aqua.ocn.ne.jp)

夢の郷創立20年！成人になりました 新しい年号「令和」の中で、これからの20年を夢あるものに

夢の郷は、こころの医療センター家族会である「いすず会」の活動の中から発展し、社会福祉法人の認可を受け精神障がい者社会復帰施設を開設し、令和元年である今年20年の記念すべき年に当たります。

この間、精神保健福祉サービスも年々充実してきました。夢の郷も、この社会の変化に対応し障がい者の暮らしを見つめ、きめ細かい支援が出来るよう年々新たな事業にもチャレンジし、障がい者の安全・安心な暮らしができるよう努めてきました。津圏域の精神保健福祉サービス事業で一定の役割を担い、評価を得るまでになりました。これもひとえに地域の方々のご理解と役員・職員のたえまない努力、行政や関係者の支援のたまものと深く感謝しています。

しかし、まだまだ障がいがあると「生きずらさ」を感じる場所が多々あります。当たり前の「くらし」を進めるためには、より一層の積み重ねと社会の支援が必要です。

来年はパラリンピックも開かれ、世界中のパラアスリートの素晴らしいパフォーマンスで障がいに対する社会的な理解がより一層進み共生社会になることが期待されます。このような機会を活かし、障がい当事者が日常生活の中で、どのような生きずらさを感じているのか「当事者の声」を積極的に情報発信していくことがとても重要だと考えます。

夢の郷は利用者とともに、これからの20年が障がい者にとってより住みやすい社会になるため活動していきたいと思えます。ぜひ見守ってご支援ください。

今年度、夢の郷の隣接県有地(約1,000㎡)が整備され公売にかけられる予定があり、夢の郷の事業をより一層きめ細かく進めていくため、是非ともこの土地を確保していきたいと事業計画の柱としたところです。ぜひ皆様のご協力を頂きたいと思えます。

理事長 日野 昭義

社会福祉充実計画について

令和元年度の社会福祉充実計画として、夢の郷本棟南側の隣接県有地を取得し、多目的施設建設計画を策定しました。この土地は、平成30年度に解体・更地化された旧草の実りハビリテーションセンター及び旧小児心療センターあすなろ学園跡地とともに今年度公売される予定です。

夢の郷将来構想の大きな柱として、障害者と住民が気軽に集い談笑したり様々な交流ができる多機能的な場、支援施設を建設したいと考えています。令和元年度に用地取得し、2年目に施設内容等の検討・設計、3年目に建設工事の3年計画です。皆様のご理解とご協力のもと進めていきます。

健康講話について

協力医療機関である高茶屋診療所の医師と相談し、利用者さんの健康増進への関心、病気に関する基礎知識・予防に対する意識をより高めていただくための講話を行っています。

講話は、毎月1回第3水曜日の午後2時から午後3時まで朝海ハイムの利用者、いすゞ工房（生活介護）の利用者と職員が熱心に学んでいます。

講話のテーマは、利用者さんの希望（日常生活の中で関心していること、困っていること）や流行している病気を取り上げています。

具体的テーマは、間食、熱中症、食中毒、夏バテ、肥満、風邪、ノロウイルス、インフルエンザ、健康診断についてでした。

(講話を聞いた利用者さんからの感想)

- ・医師の話はわかりやすかった。
 - ・地域生活をするようになり健康の大切さを実感した。
 - ・どんな質問でも真剣に答えてもらえる。
 - ・学べてよかった。
- 等の声がありました。

(支援する職員からの感想)

- ・個々の病気予防への意識が高まった。
 - ・テーマの内容だけでなく内科的な心配や困っている事の助言等も気軽に相談できることがよかった。
 - ・健康診断の結果について助言を受け、受診につながった。
- 等の声がありました。





いすず工房（就労継続支援B型事業） 利用者さんのお仕事紹介

①いすず亭(うどん屋)

- ・場所 第三銀行高茶屋支店前
- ・営業日 月曜日～金曜日
- ・時間 午前11時～午後2時

粉は、安全安心な食材にこだわり、三重県産を使用しています。利用者さんは、うどん作りや開店準備、調理補助、接客、清掃等の作業を行っています。お客様からの「美味しかったよ。」の一言が、利用者さんの喜びとなり働くやりがいになっています。



(いすず亭店内)

②喫茶待夢(たいむ)

- ・場所 三重県立こころの医療センター内
- ・営業日 月曜日～金曜日、
- ・時間 午前10時～午後2時

利用者さんは、接客マナーを大切にしてランチの注文、予約の受付、レジ打ち、売上の集計等の仕事をしています。月曜日のランチメニューの週替わりカレーは、特に好評です。

③手作り弁当

利用者さんと職員が、水曜日には三重県庁厚生棟で、木曜日には津市役所のマルシェに出向き手作り弁当を販売させていただいております。顔馴染みお客様が増え、「この弁当待っていたよ。」と嬉しいお声をいただき、利用者さんも販売の仕事にやりがいを感じています。

④部品作業

利用者さんは、地域の会社から受託した各種部品作業の組み立てを行っています。部品作業は、注文どおりに仕上げるよう協力して取り組んでいます。

(部品作業)



新職員紹介—北村憲広さん—

初めまして、4月1日付でクローバーハウスの管理者として新規採用された北村憲広です。福祉職場で働くのは初めてで、今までの経験があまり役に立っていないことを感じています。業務には少し慣れてきましたが、まだまだ分からないことだらけで毎日が何もできないうちに過ぎてしまっている状態です。

利用者さんや職員の皆さんにご迷惑をお掛けしていますが、1日も早くお役にたてるようになりたいと思っています。よろしくお願いします。

新規事業 津市精神障がい者相談支援サテライト事業について

特定相談事業所アンダンテでは、津市から精神障がい者相談支援サテライト事業を受託しました。この事業では、平日の9時から17時まで専用電話による精神障がい者に特化した福祉相談や情報提供等の業務を行っています。津市障がい者相談支援センターとの連携を図りながら精神障がい者の地域生活支援により一層努めます。

- 利用できる人は、精神や知的に障がいのある人です。
- ご利用をいただくためには、お住まいの市町が発行する福祉サービス受給者証が必要です。市町障がい福祉担当課にご相談ください。
- 相談、見学、利用方法、空室情報等については、平日の午9時から午後4時の間にお問合せください。

相談専用電話：059-269-5666

夢の郷の福祉サービスをご利用いただくための豆知識

- 利用できる人は、精神や知的に障がいのある人です。
- ご利用をいただくためには、お住まいの市町が発行する福祉サービス受給者証が必要です。市町障がい福祉担当課にご相談ください。
- 相談、見学、利用方法、空室情報等については、平日の午前9時から午後4時の間にお問合せください。

電話番号：059-238-0303

FAX：059-238-0304

編集後記

今年の夏は、7月頃は天候不順で気温が低く、梅雨明けすると一転して猛暑日となり体調管理にご苦労された方も多いことと思います。

既に複数の台風が発生していますが、台風本体とは離れた場所で大雨による被害報道があります。気象庁等の発表する大雨や災害情報に基づき早め早めの準備や対応に努め安全を確保したいと思っています。健康・安全第一でお過ごしください。

佐野、山本、岡田、高木

